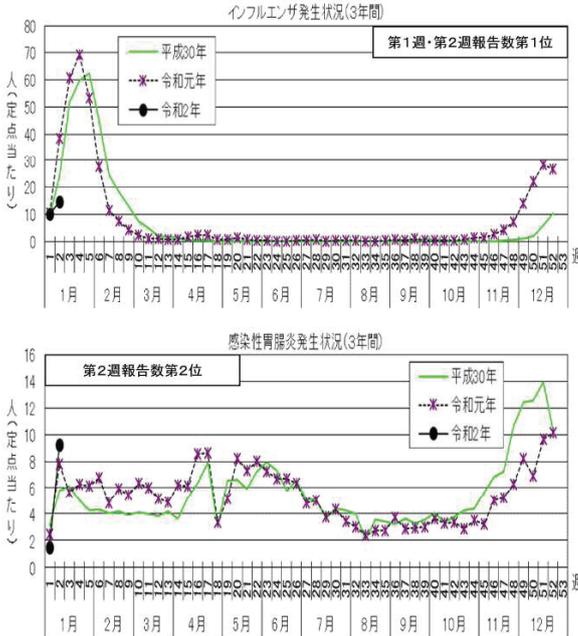


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和元年12月30日(月)～令和2年1月5日(日)〔令和2年第1週〕及び令和2年1月6日(月)～令和2年1月12日(日)〔令和2年第2週〕の感染症発生状況  
 令和2年第1週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)感染性胃腸炎でした。  
 令和2年第2週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 令和2年第1週は、年末年始で多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。

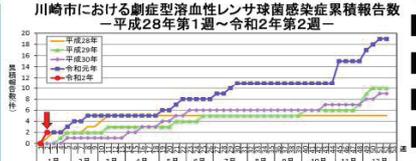


## 気を付けたい感染症～劇症型溶血性レンサ球菌感染症～

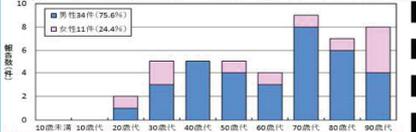
劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、突発的な四肢の痛み・腫れ、発熱、咽頭炎などから始まり、発病から数十時間以内に腫れた患部の壊死など重篤な症状を呈し、多臓器不全やショック状態から死に至ることもある細菌感染症です。  
 川崎市における報告数は、平成30年までは年間10件以下でしたが、令和元年は累積報告数が19件と過去10年間で最多でした。令和2年においても、第2週(1月6日～1月12日)に既に2件の報告があります。

### 劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは？

- 【病原体】** 主にA群溶血性レンサ球菌
  - 【感染経路】** 創傷感染、上気道感染、手術部位感染など
  - 【主な症状】** 最も一般的な初期症状は、急激に始まる疼痛です。続いて、圧痛あるいは全身症状(発熱など)がみられ、発病後数十時間以内にショックや多臓器不全などを引き起こします。局所的な腫脹、疼痛、発赤などの症状は、皮膚の傷口などの周囲にみられることが多いです。
  - 【好発年齢】** 30歳代以上
  - 【治療】** 抗菌薬治療、病変部の切除など
- 早期発見・早期治療が重要です！**



### 川崎市における劇症型溶血性レンサ球菌感染症 性別・年齢階級別発生状況－平成28年第1週～令和2年第2週



川崎市においては、平成28年第1週から令和2年第2週までに45件の報告があり、男性が75.6%、女性が24.4%を占め、70歳代以上が半数以上を占めています。

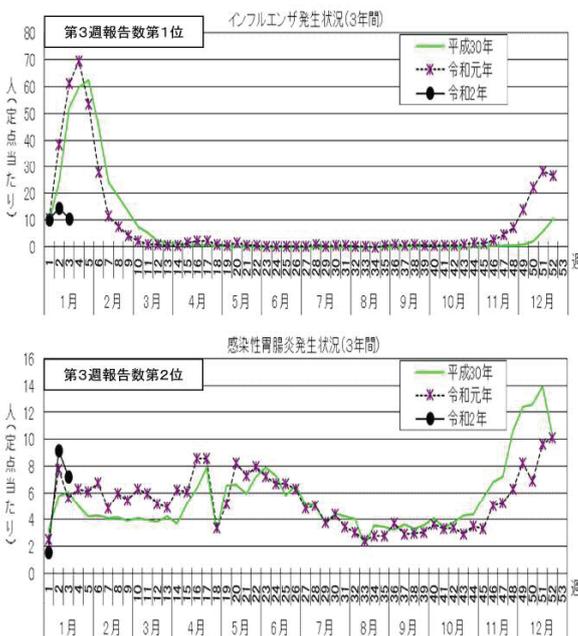
川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター (福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

## 令和2年1月13日(月)～令和2年1月19日(日)〔令和2年第3週〕の感染症発生状況

第3週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は10.43人と前週(14.69人)から減少し、例年より低いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.24人と前週(9.22人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.70人と前週(2.51人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



## 知っていますか！～コロナウイルスによる感染症～

ヒトに感染するコロナウイルスは、重症肺炎を引き起こす重症急性呼吸器症候群(SARS)コロナウイルスや中東呼吸器症候群(MERS)コロナウイルスなどの他に、通常の風邪の原因となる4種類のウイルスが知られており、一般的には、患者の咳やくしゃみを介して、又は患者との接触により感染します。

過去のSARSやMERSの事例では、子どもにはほとんど感染がみられず、感染してもその多くは軽症でしたが、高齢者や基礎疾患(糖尿病、慢性疾患など)のある方が感染した場合には、重症化するケースもありました。

基本的な体調の管理を十分に行い、咳エチケットや手洗いなどの予防対策を徹底することが重要です。

### ヒトに感染するコロナウイルスの特徴

	通常の風邪	重症急性呼吸器症候群(SARS)	中東呼吸器症候群(MERS)
ウイルス	4種類のコロナウイルス	SARSコロナウイルス	MERSコロナウイルス
発生年	毎年	2002年～2003年(韓国)	2012年～現在
発生地域	世界中	中国広東省	アラビア半島とその周辺地域 全土の80%以上はサウジアラビアからの報告 中東以外の国では輸入例(韓国、英国など)
宿主動物	ヒト	キタガシラコウキリ(中国産豚に生息)	ヒトコブタ(中東、アフリカに生息)
感染者の年齢	多くは6歳以下 全年齢に感染	中央値40歳 (子どもにはほとんど感染しない)	中央値52歳 (子どもにはほとんど感染しない)
主な症状	鼻炎、上気道炎、下痢	高熱、肺炎、下痢	高熱、肺炎、腎炎、下痢
潜伏期間	2～4日	2～10日	2～14日

### 中華人民共和国湖北省武漢市における新型コロナウイルス関連肺炎について

令和元年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルスを関連とする肺炎事例が発生しており、我が国においても、令和2年1月20日時点で患者の報告が1件ありました。



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター (福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年1月20日(月)～令和2年1月26日(日)〔令和2年第4週〕の感染症発生状況

第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は15,05人と前週(10,43人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8,49人と前週(7,24人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4,57人と前週(2,70人)から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## 正しい知識を身に付けましょう！～新型コロナウイルス感染症～

令和元年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルスに関連する肺炎事例が発生しており、世界各国からも感染者の報告が相次いでいます。令和2年1月28日現在、我が国においても7件の報告があり、いずれも武漢市での滞在歴及び関連のある方でした。

厚生労働省によると、現時点では、中国国内ではヒトからヒトへの感染は認められるものの、その感染の程度は明らかになっていません。風邪やインフルエンザと同様に、まずは咳エチケットや手洗いなどの感染症予防対策を行うことが重要です。

### 新型コロナウイルスに関するQ&A

- Q1 コロナウイルスはどのようなウイルスですか？**  
⇒ 発熱や上気道症状を引き起こすウイルスで、人に感染するものは6種類知られています。中東呼吸器症候群(MERS)や重症急性呼吸器症候群(SARS)などの重症化する疾患の原因ウイルスも含まれていますが、それ以外の4種類のウイルスは、一般の風邪の原因の10～15% (流行率は35%) を占めます。
- Q2 潜伏期間はどのくらいの長さですか？**  
⇒ 潜伏期間は現在のところ不明ですが、他のコロナウイルスの状況などから、最大14日程度と考えられています。
- Q3 予防法はありますか？**  
⇒ 一般的な衛生対策として、咳エチケットや手洗いなどを行っていただくをお願いします。  
厚生労働省ホームページ「新型コロナウイルスに関するQ&A」から一部抜粋

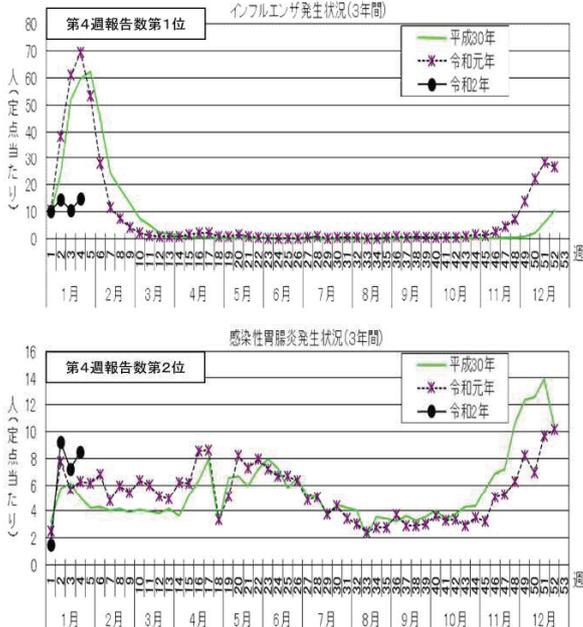
**一般的な感染症予防対策**

- ✓ 手洗いの徹底  
ウイルスは粘膜から侵入します。目や口、鼻を触らないようにしましょう。
- ✓ 適度な湿度
- ✓ 十分な休養とバランスのとれた食事
- ✓ 人混みや繁華街への外出を控える
- ✓ 咳エチケット

～3つの正しい咳エチケット～

- マスクを着用する
- ティッシュ・ハンカチなどで口や鼻を覆う
- 上着の内側や袖で覆う

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域みまもり支援センター (福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250



# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年1月27日(月)～令和2年2月2日(日)〔令和2年第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は12,85人と前週(15,05人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8,49人と前週(8,49人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4,54人と前週(4,57人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## 定期予防接種を忘れずに～2月4日は風しんの日～

風しんは、風しんウイルスを原因とする全身感染症で、発熱や発疹、リンパ節腫脹を主症状とします。症状は比較的軽いものの、妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、白内障や先天性心疾患、難聴などの症状を呈する先天性風しん症候群(CRS)の児が生まれる可能性があります。

昨年は全国で2,306件、川崎市でも56件の風しんの報告があり、成人男性を対象とする風しんの第5期の定期予防接種が開始されました。風しんに限らず、ウイルス性感染症の多くは発熱を引き起こしますが、ワクチンで予防可能な疾患もあります。定期予防接種は是非忘れずに受けましょう。

### 発熱をきたす代表的なウイルス性感染症と感染力

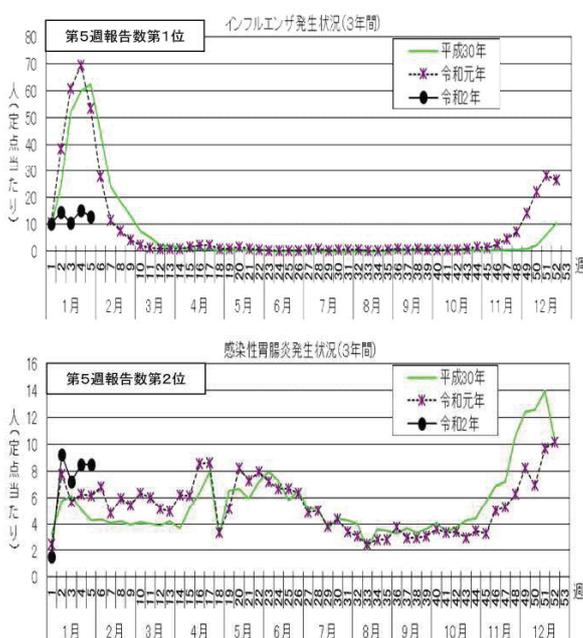
疾患名	主な感染経路	基本再生産数(R <sub>0</sub> ) <sup>※1</sup>
麻疹	空気感染、飛沫感染	12～18
水痘	空気感染	8～10
風しん	飛沫感染	5～7
流行性耳下腺炎	飛沫感染	4～7
インフルエンザ <sup>※2</sup>	飛沫感染	2～3
新型コロナウイルス感染症	飛沫感染(接触感染?)	推定 1.4～2.5 <sup>※3</sup>

※1: 一人の患者が平均何人の人に感染させるかを表す数字  
 ※2: 1918年の世界的流行時  
 ※3: 世界保健機関(WHO) 声明(2020年1月23日時点)

### 風しん(第5期)予防接種の概要

対象者: 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性  
 実施期間: 平成31年4月10日から令和4年3月31日まで  
 費用: 無料

実施医療機関など詳細は、川崎市ホームページをご覧ください。



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域みまもり支援センター (福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250 令和2年2月4日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年2月3日(月)～令和2年2月9日(日)〔令和2年第6週〕の感染症発生状況

第6週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は8.36人と前週(12.85人)から減少し、例年より低いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.14人と前週(8.49人)から減少し、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.38人と前週(4.54人)から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## 新型コロナウイルス感染が疑われる場合の受診について

厚生労働省や神奈川県では、新型コロナウイルスについての電話相談窓口を設置しています。川崎市においても、新型コロナウイルスの感染が疑われる場合には、診療体制の整った医療機関を適切に受診できるように、2月10日より市内7区に「帰国者・接触者相談センター」を開設しました。相談対象者に該当する場合は、まずは相談センターに御連絡ください。

### 川崎市帰国者・接触者相談センターについて

相談対象者(2020年2月13日現在)

- 以下のいずれかを満たす方  
 (1)発熱又は呼吸器症状のある方で、新型コロナウイルス感染症であることが確定した方と濃厚接触歴がある  
 (2)37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状のある方で、発症前14日以内に中国の湖北省及び浙江省に渡航又は居住していた  
 (3)37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状のある方で、発症前14日以内に「中国の湖北省及び浙江省に渡航又は居住していた人」と濃厚接触歴がある  
 (4)発熱、呼吸器症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、集中治療等が必要であり、新型コロナウイルス感染症の鑑別を要する方

※体調に不安のある方で、上記に当てはまらない方は、お近くの医療機関を受診してください。  
 ※相談対象者は、今後変更となる可能性があります。適宜、市ホームページで御案内します。

お住まいの区	電話番号
川崎区	044-201-3189
幸区	044-556-6715
中原区	044-744-3104
高津区	044-861-3341
宮前区	044-856-3217
多摩区	044-935-3217
麻生区	044-965-5218

開設時間：8時30分～17時15分(平日のみ)  
 ※開設時間外は区役所守衛室の電話番号を御案内します。連絡先を伺った上で、担当者から折り返しの御連絡をいたします。

### 厚生労働省及び神奈川県の連絡先

厚生労働省の電話相談窓口(コールセンター)

電話番号：0120-565653  
 (フリーダイヤル)

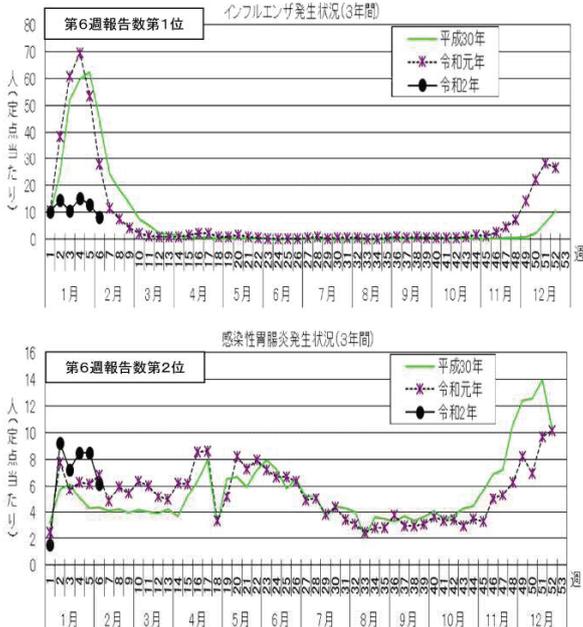
受付時間：9時00分～21時00分  
 (平日及び休日とも)

神奈川県「新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル」

電話番号：045-285-0536

受付時間：9時00分～21時00分  
 (平日及び休日とも)

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250 令和2年2月12日作成



# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年2月10日(月)～令和2年2月16日(日)〔令和2年第7週〕の感染症発生状況

第7週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は7.13人と前週(8.36人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.14人と前週(8.49人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.73人と前週(4.38人)から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## こんな症状に御注意を！！～新型コロナウイルス感染症～

新型コロナウイルス感染症の初期症状は、発熱(高熱ではないこともあります)、咳嗽、咽頭痛など一般的な風邪と同様であり、特異的な症状はありません。4～5日経過しても改善せず倦怠感が続く場合や、息切れや呼吸状態が悪化する場合は、肺炎を起こしている可能性もあるため注意が必要です。

小児については現時点で重症化しやすいとの報告はありませんが、高齢者や基礎疾患(糖尿病、心不全、慢性呼吸器疾患など)のある方、妊婦の方などは、症状が続く場合には帰国者・接触者相談センターに御相談ください。  
 ※帰国者・接触者相談センターの連絡先は川崎市ホームページを御確認ください。

### 感染症予防対策～手洗い～

**正しい手の洗い方**

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすり洗います。
- 手の甲をのぼすようにこすり洗います。
- 指先・爪の間を念入りにこすり洗います。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

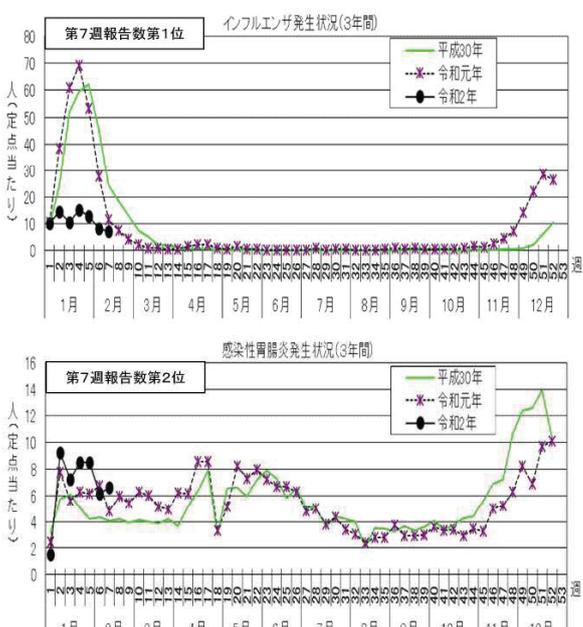
### 感染症予防対策～咳エチケット～

**咳エチケット**

マスクやティッシュ、ハンカチ、袖で口・鼻を覆う。

**正しいマスクの着用**

鼻と口の両方を確実に覆う。  
 ゴムひもを耳にかける。  
 隙間がないよう鼻まで覆う。



川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250 令和2年2月18日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年2月17日（月）～令和2年2月23日（日）〔令和2年第8週〕の感染症発生状況

第8週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は6.87人と前週（7.13人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.24人と前週（6.65人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は5.11人と前週（3.73人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



## 集団感染を予防するために～新型コロナウイルス感染症～

新型コロナウイルス感染症は、現時点で、国内には大規模な感染を認める地域はありませんが、感染経路が明らかでない患者の散発的な発生は複数の地域で見られている状況です。

流行を早期に終息させるためには、いわゆるクラスターといわれる集団の発生を防止することが重要であり、基本的な予防を徹底することが大切です。今後の国内での感染拡大を最小限に抑える上では非常に重要な時期ですので、手洗いや咳エチケットなど対策を心がけてください。

### 新型コロナウイルス感染症とは？

【感染経路】  
◆ 感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫による「飛沫感染」  
◆ ウイルスに触れた手で眼や口、鼻を触ることによる「接触感染」  
【潜伏期間】  
1～12、5日（多くは5～6日）  
【主な症状】  
発熱や呼吸器症状、強いだるさ（倦怠感）など  
※1週間前後持続することが多い  
※4日を過ぎて発熱が続き、特に1週間目においても発熱が続く場合、息が苦しい、呼吸器症状が悪化するなどを認めた場合には肺炎の合併が疑われる  
※高齢者や基礎疾患のある方は重症化するリスクが高い  
【治療】  
対症療法のみ

### 基本的な予防と対応

- ▶ 手洗いの徹底
  - ▶ 近距離で、一定時間、多数の人との接触（イベントなど）を避ける
  - ▶ 症状がある方は咳エチケットの徹底
  - ▶ 風邪症状がある場合は外出を避ける
  - ▶ やむを得ず外出する場合は、マスクを着用
  - ▶ 感染が疑われる場合には、直接医療機関を受診せず、帰国者・接触者相談センターに相談する
- ※帰国者・接触者相談センターの連絡先は川崎市ホームページを御確認ください。

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域（まもり）支援センター（福祉事務所・保健所支所）  
（問い合わせ先） 044-276-8250  
令和2年2月26日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年2月24日（月）～令和2年3月1日（日）〔令和2年第9週〕の感染症発生状況

第9週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は6.69人と前週（6.87人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.35人と前週（6.24人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.43人と前週（5.11人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



## 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぎましょう！

現在、全国各地で新型コロナウイルス感染症の報告が相次いでいます。屋内の閉鎖的な空間では、一人の感染者が複数の人に感染させた事例も報告されています。患者の集団（クラスター）が次のクラスターを生むことで感染拡大を招くことから、感染の連鎖を断つことが重要です。

### 感染拡大防止対策

- 症状の軽い人からの感染拡大  
症状の軽い人が、気が付かないうちに感染を広げている可能性があります。  
※若年層は重症化するリスクが低く、高齢者や基礎疾患（糖尿病、心不全、慢性呼吸器疾患など）のある方は重症化するリスクが高いとされています。
- 一定条件を満たす場所からの感染拡大  
風通しの悪い空間や人が至近距離で会話する環境は感染リスクが高いとされています。

※国内で集団事例の発生がみられた場所の例



人が集まる風通しが悪い場所に  
集団で集まることは避けましょう！

### 感染リスクが高い環境、行動について



あなたの行動が多くの人の  
重症化を食い止め、命を救います！



換気が悪い室内  
手を伸ばせば触れる距離

症状のない方が、屋外での活動、人との接触が少ない活動（散歩、ジョギングなど）、手を伸ばして相手に届かない程度の距離をとって会話することなどは感染リスクが低いといわれています。

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域（まもり）支援センター（福祉事務所・保健所支所）  
（問い合わせ先） 044-276-8250  
令和2年3月3日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年3月2日(月)～令和2年3月8日(日)〔令和2年第10週〕の感染症発生状況

第10週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)感染性胃腸炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は5.15人と前週(6.69人)から減少しましたが、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.46人と前週(3.43人)から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.70人と前週(4.35人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



## 家庭内での感染対策のポイント～新型コロナウイルス感染症～

新型コロナウイルス感染症の感染経路は、飛沫及び接触感染といわれています。感染が疑われる方は、咳やくしゃみ、つばなどの飛沫による御家族への感染を防ぐため、正しくマスクを着用することが重要です。症状のない方がマスクを着用する場合は、外側の汚れた部分を触らないように気を付けてください。また、症状の有無にかかわらず手洗いを徹底し、タオルやコップの共用は避けましょう。トイレやドアノブなどの手を触れる場所はこまめに清掃し、適宜消毒を行うことで、環境から周囲の人への感染を防ぐことができます。他の疾患にかかっていることで免疫力が低下することを防ぐため、必要なワクチン接種を済ませ、基礎疾患はしっかりと治療しておきましょう。

### 消毒方法について

- 【ドアノブ、取っ手などの共用部分】  
薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤\*で拭いた後、水拭き  
\*主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、濃度0.05% (原液濃度が6%の場合、水3Lに液を25mL) に調整
- 【トイレ、洗面所】  
通常の家庭用洗剤で清掃し、家庭用消毒剤でこまめに消毒
- 【タオル、食器等】  
通常の洗濯や洗浄  
・感染が疑われる方の物と分ける必要はありません。  
・洗浄前の物を共有しないでください。特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどで共有しないように注意しましょう。

### マスクの着脱のポイント

- 【装着する時】  
・顔のラインに沿って隙間のないように装着  
・鼻と口の両方を確実に覆う
- 【外す時】  
・ゴムやひもをつまんで外し、ごみ箱に廃棄  
《症状のない方》  
外側を触らないように注意  
《症状のある方》  
内側の汚れた部分を中にして廃棄  
・マスクを外した後は手洗い又はアルコール消毒  
**※使用中もマスク表面を触らないようにしましょう。万一、触ってしまった際は、手洗い又はアルコール消毒を実施してください。**

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター (福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250 令和2年3月10日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年3月9日(月)～令和2年3月15日(日)〔令和2年第11週〕の感染症発生状況

第11週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2)感染性胃腸炎 3)インフルエンザでした。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.05人と前週(4.46人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.41人と前週(3.70人)から減少し、例年より低いレベルで推移しています。インフルエンザの定点当たり患者報告数は2.03人と前週(5.15人)から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



## お子さんや妊婦さんの対策～新型コロナウイルス感染症～

新型コロナウイルス感染症の報告は国内では成人が大部分を占め、小児の割合は10歳未満1.0%、10歳代0.7%(令和2年3月9日現在)と、中国の報告と同様にごくわずかです。中国では、小児が重症化した事例は現時点では報告されておらず、胎盤を通して母子感染が認められた事例もありません。また、小児や妊娠されている方では、そのほとんどが御家族からの感染でした。お子さんや妊婦さんを守るためにも、御家族が罹患しないように注意することが重要です。

### 妊婦さんの感染対策

- 一般的な感染症対策と同様です。
  - ✓ 手洗いの徹底
  - ✓ 咳エチケット
  - ✓ 発熱や咳などの症状がある方との不必要な接触を避ける
  - ✓ 人混みを避ける  
※人混みなどに出る場合は、飛沫感染を防ぐためマスクを付けましょう。
- 妊婦さんが37.5℃以上の発熱や倦怠感などの症状が続く場合には、川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター又は対象市街の区の保健所・接産者相談センターに御相談ください。
- ※川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター  
電話番号:044-200-0730  
受付時間:8時30分～17時15分(土・祝日も実施)

### お子さんが遊ぶ際に気を付けるポイント

- 《屋外での遊び》  
・風邪症状(のどの痛み、咳、発熱など)がある時は、外出を控える。  
・よく触れる場所を触った後は手洗い  
・飲食の前にも手洗い
- 《屋内での遊び》  
・本人や御家族に風邪症状がないことを確認  
・周囲に明らかに感染者や高齢者、基礎疾患のある方などがいないことを確認  
・少人数である。  
・保護者同士の了解が得られている。  
・よく触れる場所を触った後は手洗い  
・飲食の前にも手洗い

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター (福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250 令和2年3月17日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年3月16日(月)～令和2年3月22日(日)〔令和2年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、2.43人と前週(3.05人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、1.81人と前週(2.41人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は、0.56人と前週(0.33人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



## 必要なワクチン接種を忘れずに！

多くの感染症は、世界各国で現在流行している新型コロナウイルス感染症と同様に、発熱を主症状とします。感染力が強く、病原性が高い疾患もありますが、麻疹や風しんなど一部の疾患はワクチンにより予防することが可能です。国内では、毎週風しんの患者が報告されており、川崎市でも令和2年第12週(3月16日～3月22日)に2件の報告がありました。

定期予防接種の対象の方は、かかりつけ医と相談し適切なタイミングで確実に接種をしておきましょう。

### 定期予防接種の種類

- ＜小児＞
- ✓ヒブワクチン ※インフルエンザ菌b型感染症
  - ✓小児用肺炎球菌ワクチン
  - ✓B型肝炎ワクチン
  - ✓DPT-IPV(1期)、DT(2期)ワクチン ※D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風、IPV:不活化ポリオ
  - ✓BCG ※結核
  - ✓麻疹・風しん混合(MR)ワクチン
  - ✓水痘ワクチン
  - ✓日本脳炎ワクチン
  - ✓ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン
- ＜成人＞
- ✓インフルエンザワクチン
  - ✓成人用肺炎球菌感染症ワクチン
  - ✓MRワクチン(風しん第5期)
- 【対象年齢】  
麻疹37歳4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性は、若保護者あてに届出を済ませた上で接種された方
- 【実施期間】  
令和2年4月10日から令和2年3月31日まで

### 小児が予防接種を受ける際の注意点

- ✓定期予防接種を受けられる医療機関  
川崎市予防接種個別協力医療機関
- ✓予防接種を受ける時に持っていくもの  
①川崎市予防接種予診票  
②母子健康手帳
- ✓予防接種の費用  
定期予防接種：無料  
任意予防接種：有料



詳細については、川崎市のホームページをご覧ください。  
(医療機関ごとに料金は異なります。)

### 小児の麻疹・風しん(MR)定期予防接種の対象者

- 【第1期】  
生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- 【第2期】  
小学校就学前の年度1年間(4月1日～翌年3月31日)にある者
- ※MRワクチンを接種することで、麻疹・風しん両方の疾患を予防できます。

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250 令和2年3月24日作成

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年3月23日(月)～令和2年3月29日(日)〔令和2年第13週〕の感染症発生状況

第13週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2)感染性胃腸炎 3)流行性角結膜炎でした。  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、2.95人と前週(2.43人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、1.14人と前週(1.81人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。  
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は、0.67人と前週(0.56人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



## 集団発生を防ぎましょう！～新型コロナウイルス感染症～

現在、首都圏を中心に新型コロナウイルス感染症の患者報告数が急増しています。報告の一部は施設内での感染が原因であり、医療機関や福祉施設などにウイルスが持ち込まれると、大きな集団発生(クラスター)を引き起こします。御自身の感染を防ぐためだけでなく、感染源とならないためにも、閉鎖的な空間で人と密着する場所へ出掛けるのは控えましょう。

### 3つの「密」を避けましょう

- ①換気の悪い 密閉空間
- ②多数が集まる 密集場所
- ③間近で会話や発声をする 密接場面



3つの条件がそろった場所がクラスター(集団)発生のリスクが高い!

新型コロナウイルス感染症への対策として、クラスターの発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう注意しましょう。

特定業種\*に関連することが疑われる事例の集積が報告されているため、クラスター発生のリスクが高い場所へ行くのは控えましょう。  
\*キャバレー、ナイトクラブ、バー、酒場、カラオケ、ライブハウスなど

【出典：首都圏部HPより】

川崎市 発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター(福祉事務所・保健所支所) (問い合わせ先) 044-276-8250 令和2年3月31日作成